



社会医療法人
同仁会
Dojinkai
Social Medical Corporation

私たちの理念「一視同仁」

同仁会報みみはら

2016年8月1日発行

第46号



発行 社会医療法人同仁会 同仁会報編集委員会 〒590-0824 堺市堺区老松町2丁58-1
TEL 072(244)7260 FAX 072(247)0165 URL <http://www.mimihara.or.jp> (同仁会HP)

原発・核兵器のない 未来のために



～福島原発被災地訪問、核兵器廃絶学習会～

私たち民医連・同仁会は、原発問題や核兵器廃絶の問題に真正面から取り組んでいます。「医療機関で原発問題？」一見関連が見えにくいとの意見もありますが、すべて繋がっている問題だと考えています。

原発事故から5年 福島県の被災地を訪問

東日本大震災から5年目の今年4月に、健康友の会みみはらのみなさんと合同で福島県の被災地視察を15人で行いました。最近ではテレビなどで放送されることも少なくなりましたが、現地に行くと報道だけでは見えてこない問題が山積みです。

住民同士や家族が物理的・精神的に分断されている現実があります。



説明を聞く参加者



放射能を含む除去土壌の仮置き場
(バスの車窓から)

日赤から講師を 招いて、核兵器 廃絶で学習会

そして、今夏。原水爆禁止世界

「避難した・しなかつた」、「補償が受けられる・受けられない」、「全件検査で安全性が証明されている現地の食べ物や、子どもに「食べさせる・食べさせない」など、いずれも原発事故が無ければ起こり得なかつた問題です。

放射能による健康被害の問題も未解決、どうなるかは誰にも解らない問題です。



講師は日本赤十字社大阪支部青少年ボランティア課の木村氏(耳原鳳クリニック)

大会が広島で開催されます。鳳工リアでは日本赤十字社から講師を招いて、「なぜ日赤が核兵器廃絶に取り組むのか?」の講演をしていただきました。赤十字の目的は「人道を達成すること」。人道とは生命・健康を守ること、苦痛を軽減すること、人間の尊厳を守ること。表現は違っても、私たちの民医連綱領に通じています。

◆ 私たちが原発問題や核兵器廃絶を訴えるのは、健康で安心して住み続けられる、平和な暮らしとそれらは共存ができないからです。原発が無くても、日常生活が不自由なく送れることは、既に実証済みです。

原発・核のない未来へ、みんな
で声を上げましょう。
(耳原鳳クリニック 事務長)

こんにちは! 同仁会グループ 事業所だより

ご利用申し込み・お問い合わせ先

- 健康友の会みみはら事務局
TEL 072-244-8061
- 耳原総合病院 総務課
TEL 072-241-0501

2000人集客のイベントスペース 交流・学びの場として活用を

2015年4月、みみはら健康友の会・患者・地域住民、そして職員の長年の夢であった耳原総合病院のリニューアル工事が完成し、新病院としてスタートしました。そして、2016年5月、当病院のシンボルとなる「地域交流ゾーン」も完成しました。これによって、民医連・耳原総合病院は大阪南部の新たな医療拠点、地域の「窓」としてスタートすることとなりました。

この地域交流ゾーンは1階が患者さんやご

みみはらホール



〒590-8505 堺市堺区協和町4-465
耳原総合病院
地域交流ゾーン2階

私たちは、民医連綱領の立場に立ち、地域の人びとと共に、安心して住み続けられるまちづくりをめざしています。この地域交流ゾーン、「みみはらホール」を同仁会グループや民医連職員、共同組織・地域のみなさんが気軽に集い、学び合い、交流できる場として育んでいただきたいと思います。